

# 事業報告書

令和5年度

【令和5年4月1日から令和6年3月31日まで】

学校法人 邨橋学園



## 1. 法人の概要

- ①名称：学校法人 邨橋学園【昭和 42 年 12 月 22 日法人認可】  
【昭和 43 年 2 月 7 日法人設立登記】

- ②住所等：大阪府門真市柳田町 6 番 2 号  
電話番号 06-6908-9250  
ファックス 06-6908-6190  
ホームページ <http://tachibana.ed.jp>

- ③設置する学校（令和 4. 5. 1 現在）  
学校の名称：幼保連携型認定こども園 たちばな幼稚園  
設置認可 平成28年4月1日

定員:173名 実員:145名 令和 5 年度末在籍人数 145人

年齢	0歳	1歳	2歳	満3歳	3歳		4歳		5歳		合計
区分	3号	3号	3号	1号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	—
人数	6	18	17	3	11	21	16	22	10	21	145

- ④理事長氏名：邨橋 雅廣（令和 5 年 3 月 28 日理事会選出）  
\*理事 7 人、評議員 15 人、監事 2 人 理事会 年2開催

- ⑤教職員の状況（令和 5 年度末時点）  
たちばな幼稚園  
教職員数 33 人。（正規職員 27 人 非常勤 5 人 派遣運転手 1 人）  
《新規採用者 0 人 退職者 1 人 育児休業 2 名》

## 2. 令和 3 年度 たちばな幼稚園の概要

### ①教育理念

#### 「自由と規律」

自由と言っても好きかってしても良いということではありません。自分の枠を超えていろいろなことができる力を育てるということで、そこには人に迷惑を掛けないという責任があります。

社会生活を営む上では、いろいろなルールがありますが、それは決まりを守ることでお互いが快適に生活できるためのもの（規律）です。自分から決まりを守る（自律する）ことで、自分でできること（自由）が増えてきます。

子どもたちが自分の周りに目を向けて、たくさんの人の中でお互いが認めあえることができるような経験をたくさんしてほしいと思います。（＝共に生きる）

### ②教育方針

- ・集団生活の場で、子ども一人が気持ちを解放し、自己発揮できる保育。

（個性をはぐくむ）

- ・我慢する、約束を守る、人のいやがることをしない、など、社会に出たときの態度を身につける保育。（社会性・思いやりをはぐくむ）

- ・子どもの自発的な活動としての「遊び」を通して、学べる環境を目指す保育。  
(自立をはぐくむ)
- ・興味・関心や好奇心・探究心を養う保育。(主体性をはぐくむ)

### ③保育目標

個性を発揮し、周りの子ども達と協力し合い、遊び・学べる子ども

- 1, 健康安全の環境を整えて、心身の調和発達を助長する。
- 2, 集団生活を経験するなかで、協働と自立の芽生えを養います。
- 3, 日常生活における基本的な習慣を身につけ、豊かな情操を養い、円満なる人格形成の基礎を培います。

### ④教育方法

- ・たてわりではない異年齢保育
- ・子ども主体の保育
- ・かかわりを大事にした保育
- ・ねらいに応じた選択性の保育
- ・チーム保育（保育士含め全員で係わる保育）

### ⑤学年、定員、実員（内訳）学級数（令和5年5月1日現在）

年度	0歳児	1歳児	2歳児	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	9	18	18	3	37	43	45	173
学級	1	1	1	0	2	2	2	9
R4年度	9	13	15	0	40	33	43	153
R5年度	4	18	16	0	32	40	32	142
年度末	6	18	17	3	32	38	31	145

充足率（年度末） 1号 67% 2号 94% 3号 91%

○開演時間 月～土曜日：午前7時30分～午後7時（11時間30分）

○保育時間 1号 月～金曜日  
午前9時～午後2時（5時間）

2号・3号 月～土曜日  
保育標準時間認定  
午前7時30分～午後6時30分（11時間）

保育短時間認定  
午前9時～午後5時（8時間）

○給食 月～土曜日

弁当 園外保育等・土曜日の1号預かり保育臨時利用時

### ⑥保育料及び諸経費

○保育料：所得に応じて市が決定する

○特定保育料：施設設備費：2,400円

職員拡充研修費 3,200円

給食調理費 2,200円

教材費 0・1歳児 1,600円 2歳児 2,700円 3歳以上 3,200円

○給食費：1号認定 200円／1回

2号認定 6,500円（主食費・副食費）

○冷暖房費：700円／月

○園バス維持費：4,000円（月額）

入会金3,000円（初回のみ）

預かり保育利用など迎え・送りどちらかのみ利用の場合半額

○保護者会費：600円（月額）

○雑費（定額で預かり、園外保育などに当て、年度末で精算する）

5歳児：4,500円 満3歳児および3・4歳児：3,500円

#### ⑦入園時の費用

○入園事務手数料：30,000円

※兄弟が在園しているか兄弟2人同時入園に限り奨学金20,000円を入園後支給する。

#### ⑧預かり保育

○1号 月～金曜日：保育終了後～午後5時まで

月極：7,700円 臨時：770円

土曜日等 朝8時30分～午後5時まで 臨時：1,540円

特別延長 午前7時30分～午前8時30分 ・ 午後5時～午後6時30分

臨時：100円／30分毎

午後6時30分～午後7時

臨時：200円

夏休み中・土曜日

月極：10,000円 円

土曜日等 朝8時30分～午後5時まで

特別延長月極 午前7時30分～午前8時30分 2,000円

午後5時～午後6時30分 3,000円

午後6時30分～午後7時 2,000円

○2・3号

延長 午前7時30分～午前8時30分 ・ 午後5時～午後6時30分

100円／30分

午後6時30分～午後7時 200円

#### ⑨行事の実施状況

4月/入園式（保護者同伴）、始業式、クラス懇談、クラス写真撮影

以下は毎月実施 身体測定、誕生会（各クラスにて）、避難訓練

5月/創立記念日（1号のみ休み）

6月/健康診断、虫歯予防デー、

7月/個人懇談、七夕、夏祭り、終業式、夏休み、年長児お泊まり保育（園内にて実施）

8月/夏休み、夏期保育  
9月/始業式、総合避難訓練、保育参観、運動会予行  
10月/運動会、園外保育、翌年度入園児面接、園外散歩  
11月/秋祭り、生活発表会予行、内科検診  
12月/餅つき、生活発表会、クリスマス会、終業式、冬休み、  
1月/始業式、  
2月/豆まき、個人懇談、お別れ遠足  
3月/ひなまつり会（各クラス）、お別れ会、終了式  
卒園式（保護者同伴）、成長展

⑩主な事業・計画の進捗状況

○3・4・5歳児の保育グループ毎に特徴を持たせ、各グループ間の交流を遊びを通して促すための環境設定

（例 科学ゾーン・伝承遊びゾーン・木工ゾーン などの充実）

補助金利用で購入

○その他子育て支援事業として継続のもの

・キンダーカウンセラー事業(大阪府補助金事業)

臨床心理士によるカウンセラー事業は実施

月2回の相談日・月1回の園児観察日

（ただし緊急時や継続児の相談も含む）

・園開放事業

園開放や遊びにおける連携には課題がある。

地域に対する園開放は未だ、職員不足により実施できていない。

・絵本貸出事業

※在園児のみ対象で実施

乳幼児に絵本の貸出・保護者に子育て関連書籍貸出

○新規事業 及び 変更点

・中庭人工芝の張り替え

経年劣化に伴い芝生の先がちぎれ服に静電気で付着し取れず保護者から対策の要望があったり、保育室の掃除が追いつかない状況になっているため、張り替えを検討している。（見積もり価額 約600万円）

しかし、園の事業資金が足りないため、実施できていない。

・園庭築山の緑化

前年度同様、ビオトープなど自然環境が良くなったが、築山については、なかなか緑化には課題が残る。植栽においても、元気のないものもあったので、肥料を工夫し、様子を見る。

・靴箱の整理と修繕靴箱の位置を1階北側と1階東側への集約は混乱もなくできている。

しかし、未だ修理が出来ていないところもあり、資金不足により課題が残る。

・指導内容の検討

計画に合ったお泊り保育の7月実施については、特に混乱もなく、保護者の理解もあり実施できた。課題となった、子どもたち主体の活動も、子どもたちがそれぞれで意見を出し合えるようなサークル対話を行い、相互の意見を調整し、折り合いをつけながら話をまとめていった、近隣のスーパーへの買い出しであったり、一昨年のもものよりも、より子ども主体の内容になっていた。

- ・保育室のゾーンの充実を図る中で木工ゾーンが一昨年出来たが、卒園制作以外は日常的な利用の活動は少なかった。保育教材の集約におけるゾーンの充実は広さの確保もあり、子どもたちが自由に遊びを選択する姿はあった。しかし、2階わいわいの活用は安全面の確保や職員の配置など課題がある。
- ・体育指導について週2階行われている体育指導のうち、一回をホールを使った運動遊びゾーンとして環境作りをお願いした。異年齢による子どもたちの運動遊びが充実され、子ども同士の関わりに刺激が起き、主体的な活動が行われるようになった。残り一日は年齢別による指導をおこなっているが、週2階の体育指導であると、週の保育活動の時間が取りづらいという意見もあり、検討する余地もある。

### 3. 財務の概要

#### ○財務状況の説明

令和4年度に定員変更を行い保育単価の修正し、近隣の小規模園からの入園児が多くあったが、それでも園児数の減少で人件費の負担がまた大きくなってしまった。

教員採用については、前年度と同じく不調の状況が続いて、WEB広告などを使ってみたが、費用対効果に疑問があり厳選が必要と感じた。

収支差額が大きい事の原因と思われていた教員数と給食費・バス維持費についてだが、人件費比率は危険水準は超しておらず、給食費については、他社との比較や給付費の人員費・給食費担当分の差異を調べたが、給食費が若干少ない事しか見受けられなかった。また、バスの維持費だが、送迎で利用する人数は増加しなかったが、門真市外から来る園児や園外保育などで使用する事から、バス1台は残しておくことにした。

特別徴収の光熱費をこども園移行時から変更をしていないので、現在の価格と合っていないことがわかった。

細かな定員変更での保育単価の適正化と光熱費の値上げで、財務状況を改善する目安が見え始めたと考えている。